

6 - 5 中部・北陸地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chubu and Hokuriku Districts

国 土 地 理 院
Geographical Survey Institute

第1図は、鬼崎・名古屋・鳥羽の各験潮場の月平均潮位差を示した図である。鬼崎と名古屋に対して鳥羽がわずかに沈降する傾向が続いており、この1年でその傾向が特段に変わったようには見えない。

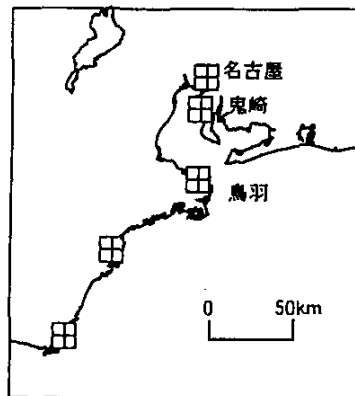
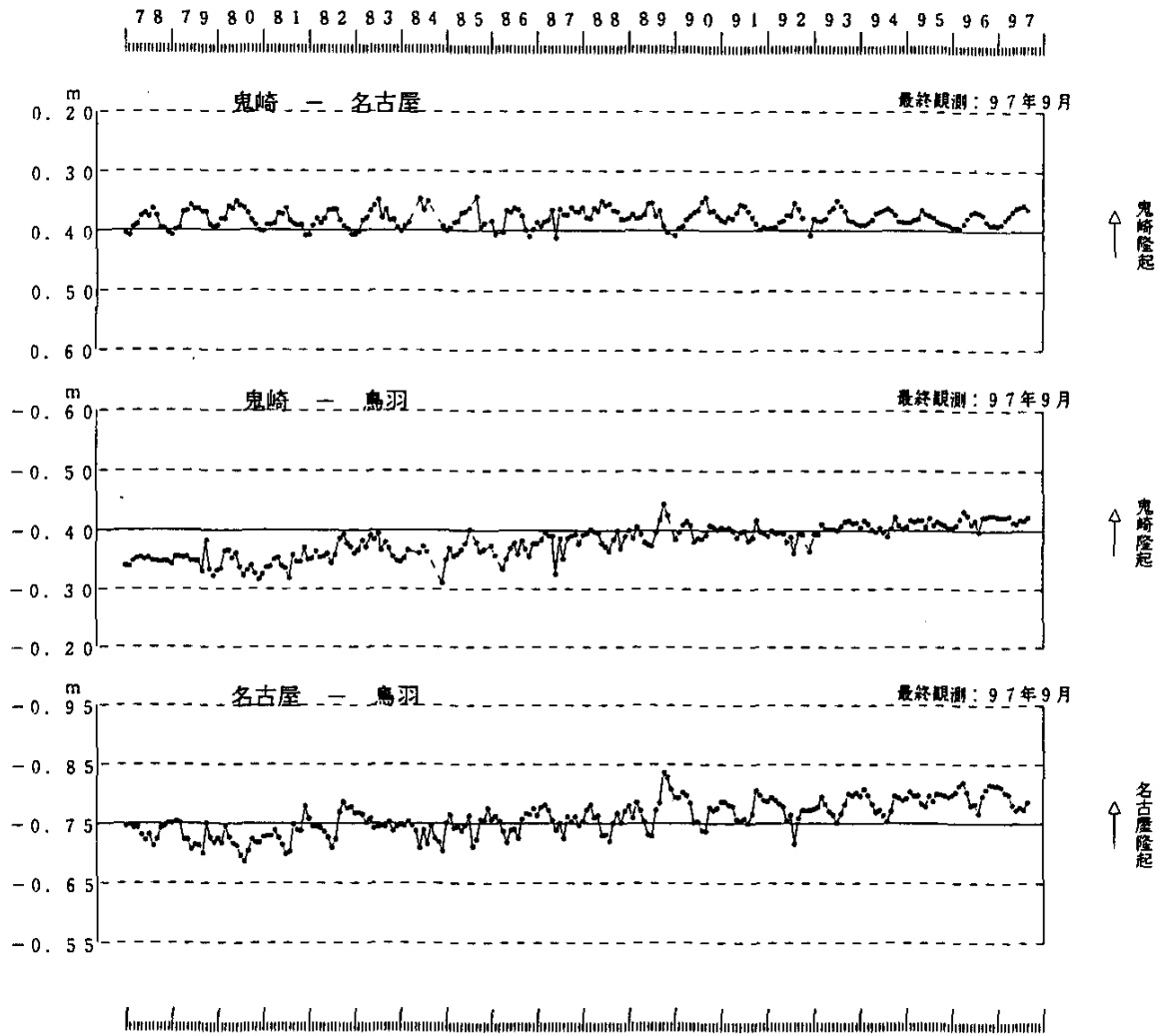
第2図は北陸地方の各験潮場間の月平均潮位差を示した図である。長期的には輪島が隆起の傾向にあるが、この1年間で特筆すべき変化はない。

第3図は阿寺断層の坂下地区において行った精密辺長測量の結果である。約10年ぶりの観測となったが、大きな変化は見られなかった。

第4図は跡津川断層の有峰湖地区で行った精密辺長測量の結果である。2年前との比較で、東西方向と北北西 - 南南東方向の基線が縮んでいる。

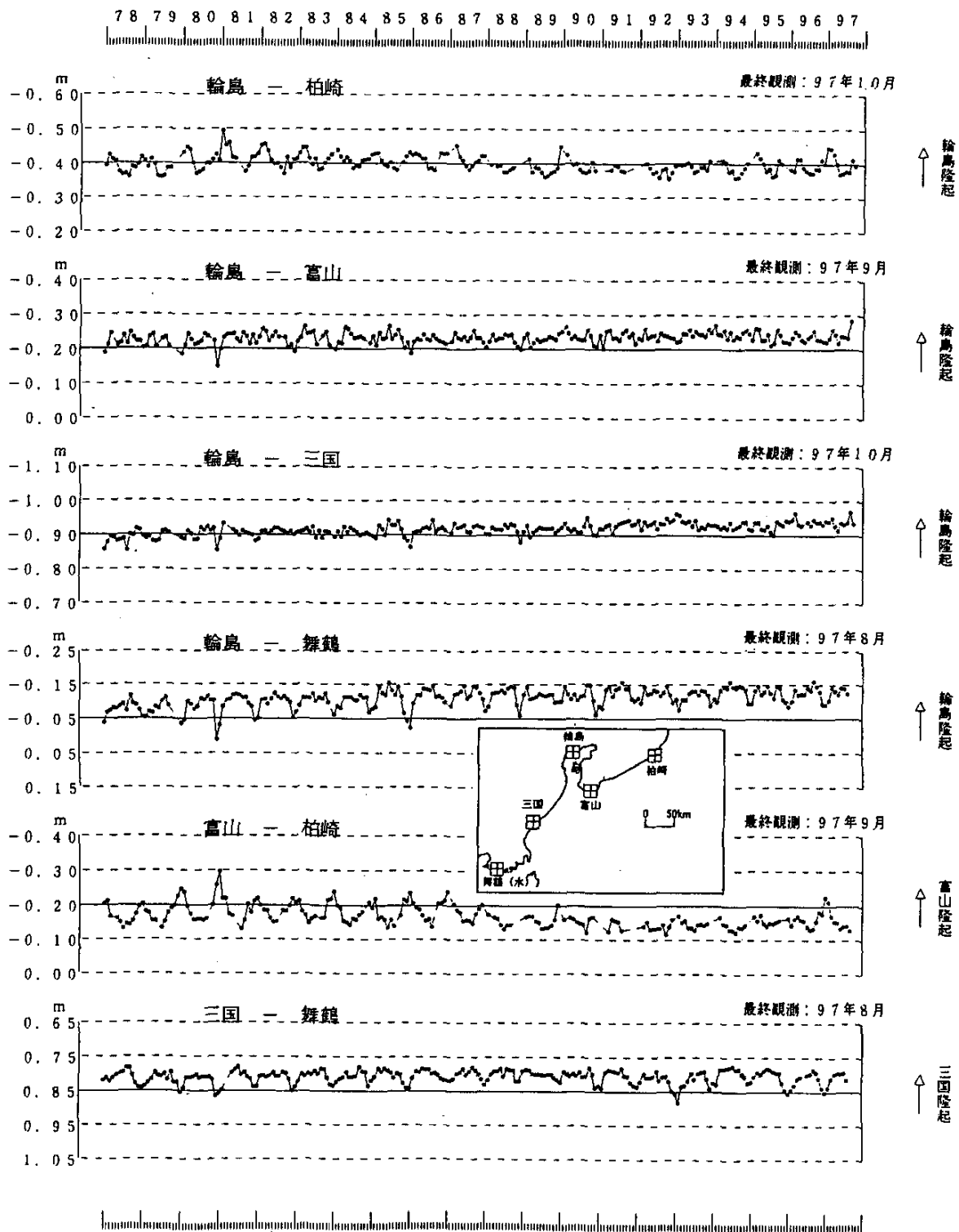
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，52（1994），479-490．
- 2) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，54（1995），484-501．
- 3) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，56（1996），413-418．
- 4) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，57（1997），520-524．
- 5) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，58（1996），476-483．



第1図 鬼崎・名古屋・鳥羽験潮場間の月平均潮位差

Fig.1 Differences in monthly mean sea levels between Onizaki, Nagoya and Toba tidal stations.

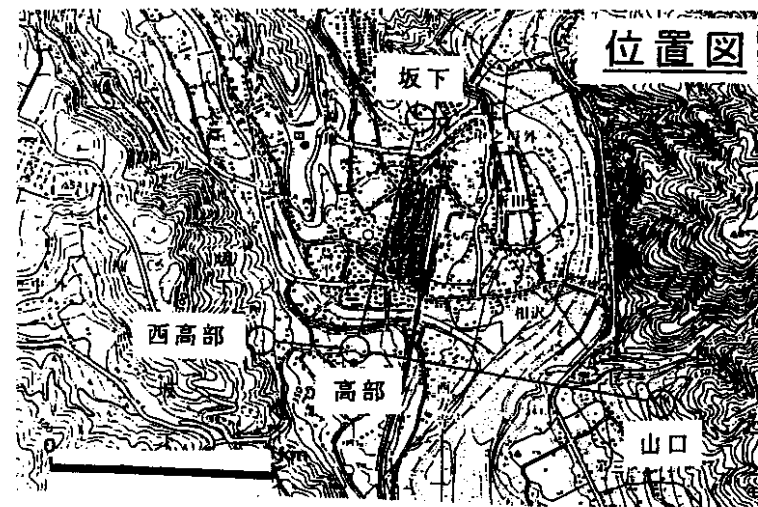
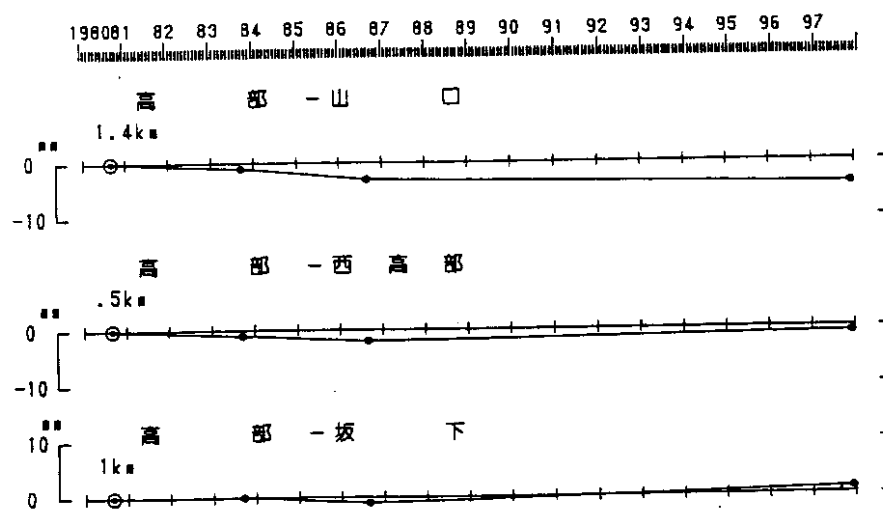


第2図 北陸地方各験潮場間の月平均潮位差

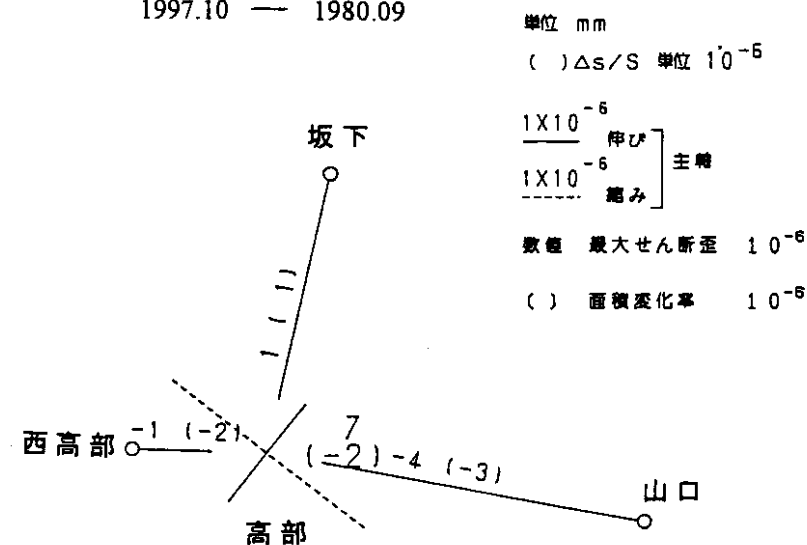
Fig.2 Differences in monthly mean sea levels between the tidal stations in the Hokuriku District.

測定年月	1980	1983	1986	1997
区 間	9	9	8	10
高 部 ~ 山 口	1362.316	.315	.313	.312
高 部 ~ 西 高 部	482.227	.226	.225	.226
高 部 ~ 坂 下	1025.984	.984	.983	.985

辺長の経年変化



水平歪・辺長変化 1997.10 — 1980.09

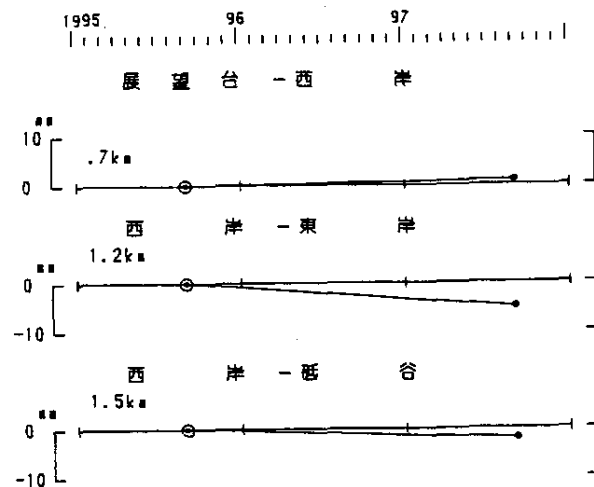


第3図 阿寺（坂下地区）精密辺長測量結果

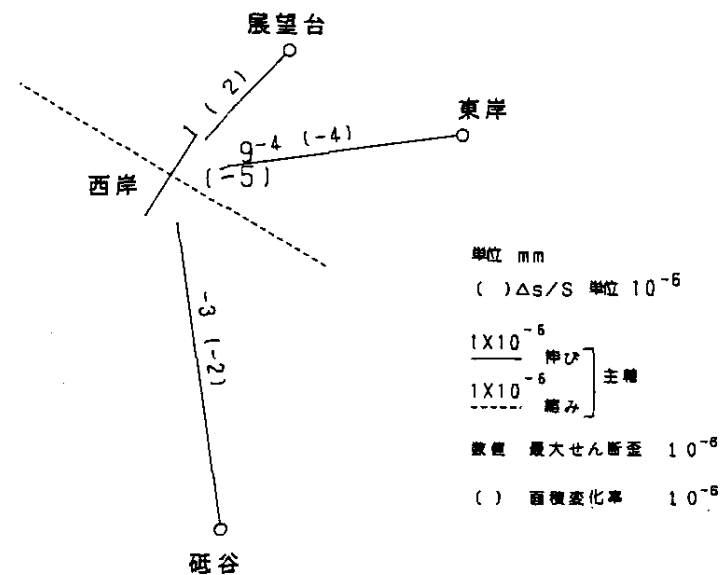
Fig.3 Result of precise distance measurement in Adera Fault (Sakashita) region.

測定年月	1995	1997
区 間	9	9
展望台～西 岸	694.477	.478
西 岸～東 岸	1185.409	.404
西 岸～砥 谷	1470.687	.685

辺長の経年変化



水平歪・辺長変化 1997.09 — 1995.09



第4図 跡津川（有峰湖地区）精密辺長測量結果

Fig.4 Result of precise distance measurement in Atotsugawa Fault (Lake Arimine) region.